るのバス運行ルートの再編について

資料5-1

◆再編に係る経過

○令和４年３月
るのバスの増発・増便の実証実験を開始

○令和５年７月
協議会において、東秋留駅南口折り返し場の整備方針を決定

○令和６年３月
環境へ配慮したEV（電気）バスを導入

○令和６年４月
バス事業者とるのバスの課題等について整理

○令和６年５月
バス事業者による再編案の作成に着手

○令和６年１０月
協議会において、令和７年度から車両２台による運行方針を決定

事業を取り巻く環境の変化

○令和４年３月
デマンド型交通「チョイソコあきる野」の実証実験を開始
⇒　るのバスが通行できない地域をカバー

○令和６年３月
EV（電気）バスは１回の充電で走行できる距離に制限※があり、
現行ルートを１日運行することができない
⇒　予備車両を使用し、３台で対応
※　不足の事態や空調の使用等を考慮し、約１５０～１６０km

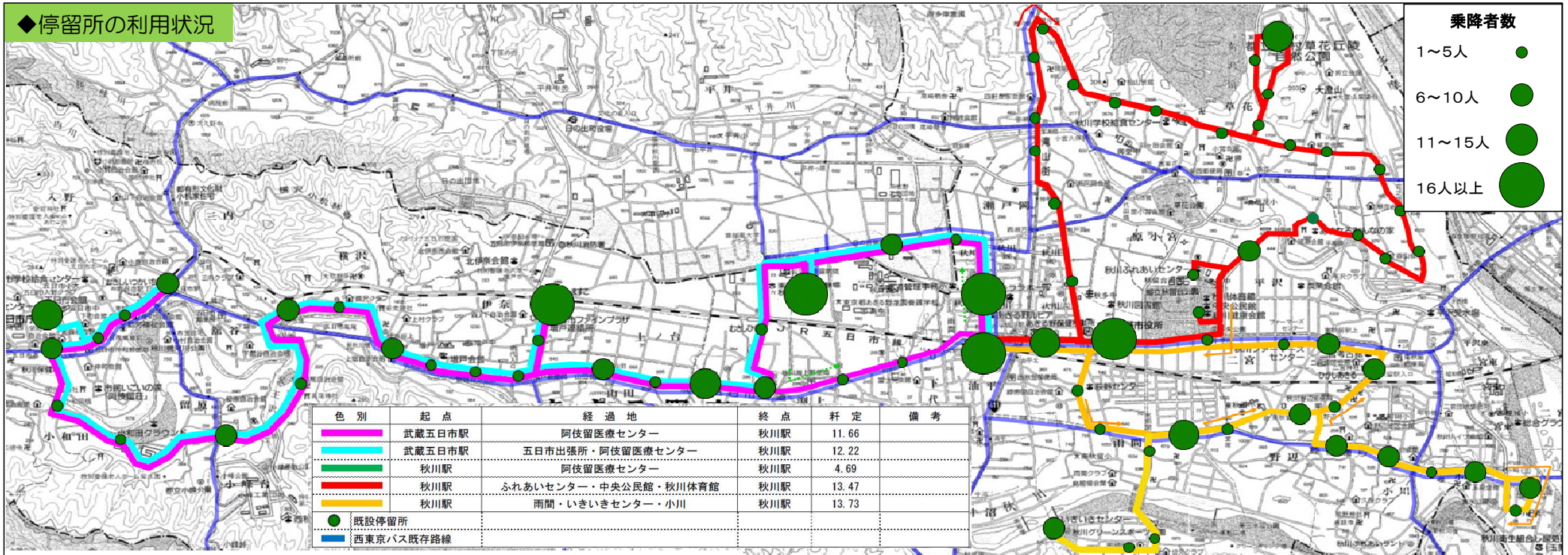
○令和６年４月
働き方改革関連法の施行により、運転手の拘束時間の
上限や休息期間等が改正（２０２４問題）
⇒　運転手不足が深刻化

○令和６年度以降
運行に使用している車両（日野ポンチョ）の老朽化に
より、故障が頻発化
⇒　車両の更新を検討（令和７年度更新予定）

今後の見通し	○交通結節点となる東秋留駅南口折り返し場を整備 ○区画整理事業に伴う武蔵引田駅北口の駅前広場などの整備 ○老朽化に伴う車両の更新　２台目となるEV（電気）バスの導入を想定 ○あきる野市地域公共交通計画の作成

るのバス運行ルートの再編について

◆停留所の利用状況



色別	起点	経過地	終点	粁定	備考
	武蔵五日市駅	阿伎留医療センター	秋川駅	11.66	
	武蔵五日市駅	五日市出張所・阿伎留医療センター	秋川駅	12.22	
	秋川駅	阿伎留医療センター	秋川駅	4.69	
	秋川駅	ふれあいセンター・中央公民館・秋川体育館	秋川駅	13.47	
	秋川駅	雨間・いきいきセンター・小川	秋川駅	13.73	
	既設停留所				
	西東京バス既存路線				

※　令和６年１０月３１日、１１月２６日及び１２月２３日の利用実績を基に平均値を算出

◆EV（電気）バスへのシフトによる影響

【現況】ディーゼル車：１台、EV（電気）バス：１台

走行距離：１９９．０km　ディーゼル　ＥＶ

運行時間	７：１９～１９：５８
運行便数	五日市(往)　５便 五日市(復)　５便 草　花　　９便 小　川　　９便 引　田　　６便 ※　五日市(往)：五日市→秋川 ※　五日市(復)：秋川→五日市
接続回数	・小川→草花　１回 ・小川→引田　５回 ・小川→五日市(復)　４回 ・引田→草花　４回 ・引田→小川　３回 ・引田→五日市(復)　１回 ・草花→小川　７回 ・草花→引田　２回 ・草花→五日市(復)　３回 ・五日市(往)→小川　１回 ・五日市(往)→草花　４回 ・五日市(復)→五日市(往)　３回 ●合計３８回

再編せずに運行した場合…

【再編】EV（電気）バス：２台

走行距離：１５０km　ＥＶ　ＥＶ

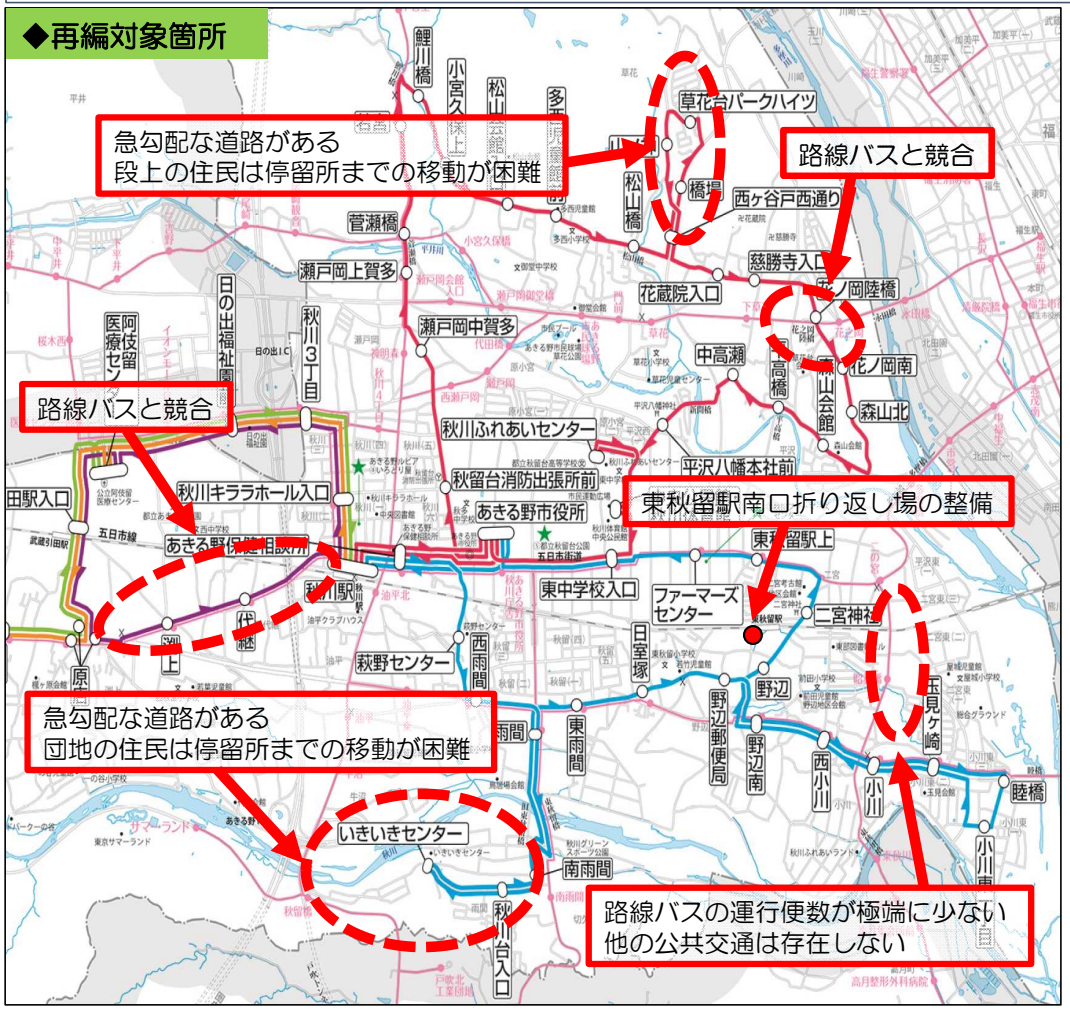
運行時間	７：１９～１９：００
運行便数	五日市(往)　４便 五日市(復)　４便 草　花　　６便 小　川　　６便 引　田　　６便 ※　五日市(往)：五日市→秋川 ※　五日市(復)：秋川→五日市
接続回数	・小川→草花　０回 ・小川→引田　４回 ・小川→五日市(復)　２回 ・引田→草花　４回 ・引田→小川　２回 ・引田→五日市(復)　１回 ・草花→小川　５回 ・草花→引田　２回 ・草花→五日市(復)　１回 ・五日市(往)→小川　１回 ・五日市(往)→草花　２回 ・五日市(復)→五日市(往)　２回 ●合計２６回

るのバス運行ルートの再編について

◆再編に係る課題（条件）

〇令和７年度に整備する東秋留駅南口折り返し場を効果的に活用するルートの検討
〇エネルギーの持続可能性を考慮したEV（電気）バスの走行距離を踏まえたルート編成が必要
〇今後も続くことが予想される運転手不足へ対応するため、運行業務の効率化が必要
〇既存公共交通の維持・確保のため、既存公共交通を最大限生かすことができるルート編成が必要
〇公共交通の需要はあるが、道路幅員や道路勾配などの地域特性を理由に、るのバスを運行できない地域への対応が必要

◆再編対象箇所



◆利用傾向の分析

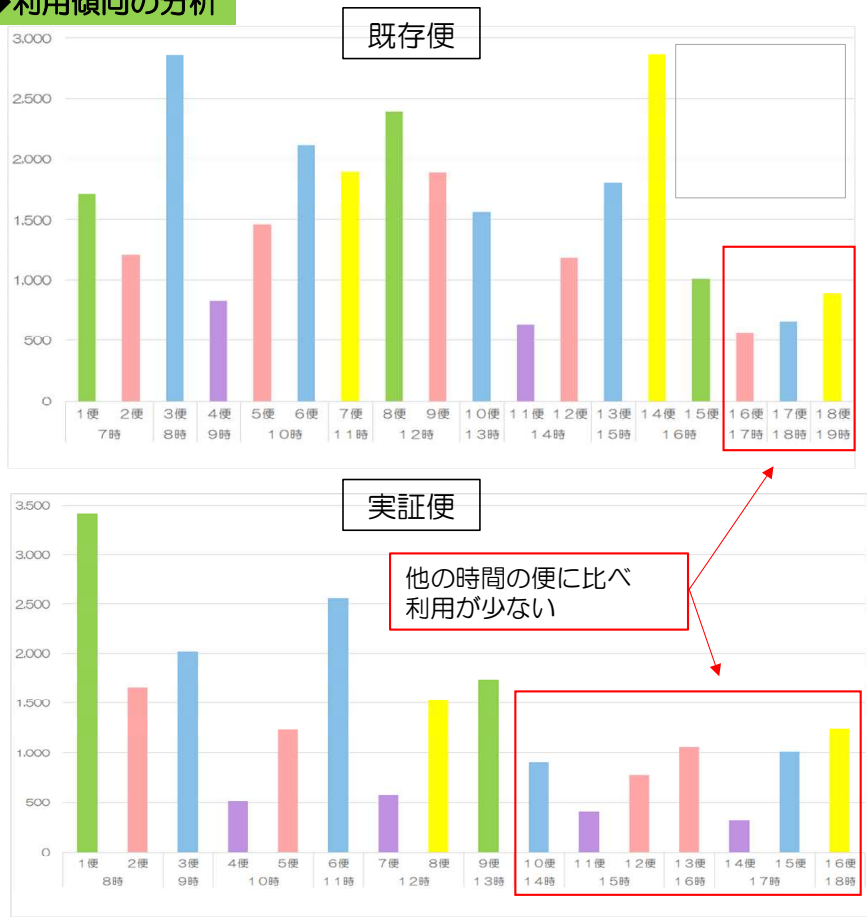


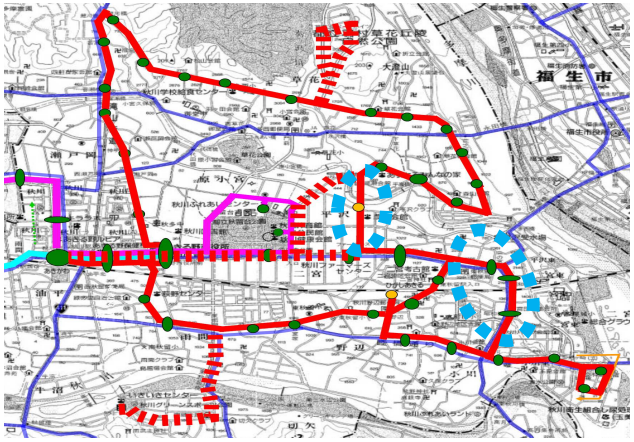
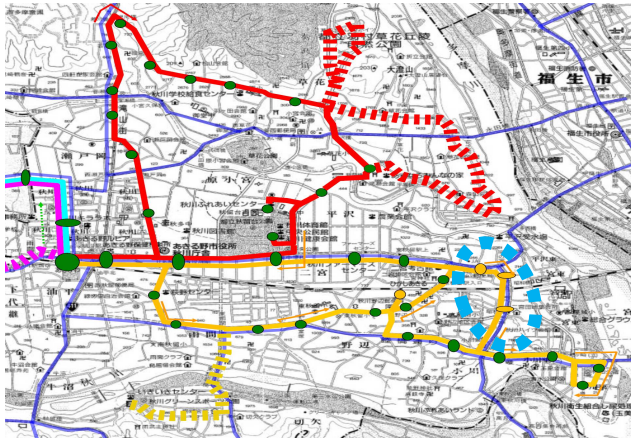
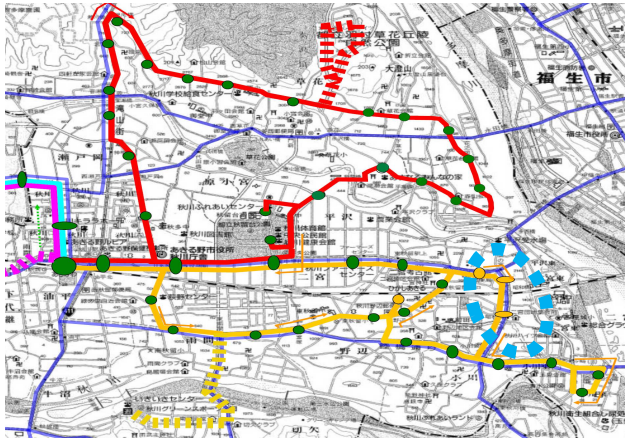
図　令和６年度利用状況（１２月末現在）

◆再編方針

〇地域ごとの最寄り鉄道駅への接続強化
〇路線バスと競合するルート又は利用が少ない時間帯の便などを再編対象
〇カーボンニュートラルや２０２４問題などの社会情勢の変化に対応
〇再編により公共交通空白地域となるエリアへの代替手段の導入

るのバス運行ルートの再編案

◆これまでの協議会での意見や再編方針などを踏まえ、交通事業者との協議を経て、３つの視点からるのバスルート再編案を整理
（路線図の拡大版は「資料５-２」）

	案１	案２	案３
			
趣　旨	市役所への接続を重視	鉄道駅へのアクセスと運行便数を重視	現行ルートを重視
特　徴	①起点を秋川駅から市役所へ ②路線の休止 ・草花台パークハイツ方面 ・いきいきセンター方面 ③路線の追加 ・昭和橋ルート ・草花大橋ルート ④草花ルートと小川ルートの統合	①起点は秋川駅 ②路線の休止 ・草花台パークハイツ方面 ・いきいきセンター方面 ・花ノ岡方面 ・代継方面 ③路線の追加 ・昭和橋ルート	①起点は秋川駅 ②路線の休止 ・草花台パークハイツ方面 ・いきいきセンター方面 ・代継方面 ③路線の追加 ・昭和橋ルート
運行便数	五日市(往)　６便　※　五日市(往)：五日市→秋川 五日市(復)　６便　※　五日市(復)：秋川→五日市 草花・小川　７便	五日市(往)　６．５便 五日市(復)　６．５便 草　花　７便 小　川　７便	五日市(往)　５．５便 五日市(復)　５．５便 草　花　７便 小　川　７便
接続回数	接続場所：市役所 ・五日市(往)→草花・小川　６回 ・五日市(復)→五日市(往)　６回 ・草花・小川→五日市(復)　６回 ●合計１８回	接続場所：秋川駅 ・五日市(往)→小川　２回 ・五日市(往)→草花　５回 ・五日市(復)→五日市(往)　５回 ・草花→小川　５回 ・小川→草花　７回 ・小川→五日市(復)　５回 ●合計29回	接続場所：秋川駅 ・五日市(往)→小川　３回 ・五日市(往)→草花　４回 ・五日市(復)→五日市(往)　３回 ・草花→小川　５回 ・草花→五日市(復)　２回 ・小川→草花　７回 ・小川→五日市(復)　３回 ●合計27回
走行距離	約１５１．８km／日・台	約１５６．３km／日・台	約１５５．１km／日・台